

# 新型インフルエンザの重症化に関する注意について

## インフルエンザ脳症について

インフルエンザ脳症は、インフルエンザ発病後急に病状が悪くなる病気で、主に5歳以下の乳幼児がかかります。

その初期には、インフルエンザの症状(発熱等)に加えて以下の症状が現れます。このような症状が見られた際には、速やかに医療機関を受診して下さい。

- (1) 呼びかけに答えないなど意識がはっきりしない(意識障害)
- (2) 意味不明の言動が見られる
- (3) けいれんが30分以上続いたり(持続性のけいれん)、発作を繰り返し意識が完全に回復しない

また、強い解熱剤によりインフルエンザ脳症がより重症化することがあるため、解熱剤は必ずかかりつけの医師に相談して使用しましょう。

現在流行している新型インフルエンザに感染したほとんどの方は比較的軽症で回復していますが、持病のある方々のなかには、治療の経過や管理の状況により新型インフルエンザに感染することで重症化するリスクが高い方がいます。また、もともと健康な方でも、次のような症状を認めるときは、すぐに医療機関を受診してください。

小児	大人
呼吸が速い、息苦しそうにしている 顔色が悪い(土気色、青白いなど) おう吐や下痢が続いている 落ち着きがない、遊ばない、反応が鈍い 症状が長引き悪化してきた	呼吸困難または息切れがある 胸の痛みが続いている おう吐や下痢が続いている 3日以上、発熱が続いている 症状が長引き悪化してきた

上記のようなこともあり得ますので、お子さまが新型インフルエンザを発症した場合はなるべく目を離さないように心がけてください。